

活動報告

2011年 新潟県厚生連臨床工学技士会活動報告

糸魚川総合病院、ME室；臨床工学技士

いしだしゅんたろう
石田 俊太郎

新潟県厚生連臨床工学技士会は2011年12月末現在、会員数56名が11施設で代謝・循環・呼吸療法に関する生命維持装置の設定操作・保守管理業務を行っています。

まだまだ少数職種ながら当技士会は春秋期研修会を定期的に開催し、また会員各位が日本透析医学会学術集会や新潟県透析懇話会、ペースメーカー研究会、呼吸器学会等々の代謝・循環・呼吸分野の各学会へ参加して学術発表を行っています。更に各施設や地域での関連分野における講師・上級認定資格の取得を通じて、臨床工学技士としての知識・技術向上に努めております。各方面からの末永い御指導を何卒宜しく御願ひ申し上げます。

2010年 活動実績（会員の発表を含む）

- 1月25日 (株)KISSEI 薬品 社内勉強会（上越市民プラザ）
講師：石田俊太郎 ー臨床工学からみた血液浄化の基礎ー
- 2月6日 第1回 循環器セミナー（株）ジェイメデイカル本社）
講師：(株)USCI ジャパン ー大動脈内バルーンポンピングー
(株)テルモ ー経皮的心肺補助システムー
循環器系生命維持装置を用いての実習
- 5月22日 第2回 循環器セミナー（厚生連新潟医療センター）
講師：厚生連新潟医療センター 循環器内科
大塚 英明 先生 杉浦 広隆 先生
ー心臓カテーテル検査の実際と最新の情報を含めて研修するー
- 6月17、18、19日 第56回 (社)日本透析医学会学術集会・総会
(バシフィコ横浜)
矢島 晃仁 他：大規模地震災害に備えた地域防災体制作りへの着手
- 7月2日 糸魚川総合病院院内集談会（糸魚川総合病院講堂）
石田俊太郎 他：血漿・アルブミン含有電解質交換療法が奏効した慢性炎症性脱髄性多発神経炎の一症例
- 7月10日 新潟県厚生連臨床工学技士会春秋研修会・総会（長岡中央総合病院講堂）
2010年度総会（活動報告 会計・監査報告 予算報告 役員選出 その他）
教育講演ー1 講師：(株)東レメデイカル救急集中治療製品事業部門 宮本 卓也 先生
敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法に関する最近の知見
教育講演ー2 講師：オリンパスメデイカル 日高 哲也 先生
内視鏡外科手術システムに関してー最新の内視鏡手術とはー
- 7月23日 第18回 長野県循環器従事者懇話会（信州上田医療センター）
大塚 慎一 他：補助循環装置（PCPS、IABP）を装着した患者の搬送経験
- 10月13日 第21回 上越腎疾患・透析療法研究会（ホテルセンチュリー イカヤ）
目崎 拓人 他：AFHD から AFBF への変更が有効であった一症例
- 11月5日 第35回 新潟ペースメーカー研究会（学生総合プラザ STEP）
佐藤 真理 他：プログラマー使用中の電源遮断に関して
“再起動に要する時間など”

- 11月15日 糸魚川総合病院看護部プリセプティー研修『人工呼吸器』
講師：磯野 拓郎
- 11月20日 新潟県厚生連臨床工学技士会秋季研修会（長岡中央総合病院講堂）
教育講演－1 講師：(株)旭化成クラレメディカル血液浄化国内事業部 関東支店
学術グループ 井上 秀俊 先生
This is Cart～腹水濾過濃縮再静注法について
教育講演－2 講師：(株)テルモ 心臓血管カンパニー 松嶋 崇大 先生
心臓カテーテル治療における各種デバイスの基礎知識
ビデオライブ コメントーター：村上総合病院 内科医長 岡田 慎輔 先生
心臓カテーテルの実際～CEに望むこと～
- 12月4日 第3回 循環器セミナー（厚生連新潟医療センター）
 1. 基礎 Session 冠動脈疾患の診断について
 - (1) 心電図の基礎
 - (2) 心臓エコーの基礎
 - (3) 心臓CTの基礎
 - (4) 心筋シンチの基礎
 2. Luncheon Session
 3. PCI Session *Mini Group Discussion
 - (1) PCIの基礎（hands onの前に知っておくこと）
 - (2) Hybrid mode & Circuit modeでの手技体験
- 雑誌投稿 新潟県厚生連医誌
植田 真弓 他：AFHD から AFBF への変更が有効であった1症例
石田俊太郎 他：急性血液浄化における Modality の差違と血中濃度に関する数学的解析

2011年 臨床工学技士会 春期研修会 報告

- 日時 2011年7月10日 10時より15時まで
場所 厚生連長岡中央総合病院 講堂
参加数 44名
内容
1. 会長挨拶
 2. 厚生連本部挨拶
 3. 2010年度総会
 4. 教育講演1
「敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法（PMX-DHP）に関する最近の知見」
講師 東レ・メディカル 宮本 卓也 様
 5. 教育講演2
「内視鏡外科手術システムに関して～最新の内視鏡手術とは～」
講師 オリパスメディカル 日高 哲也 様

本部講演として監査室長 大橋 仁 様より現在の収支状況と今後の事業計画等について御説明を頂きました。県厚生連標準化血液回路採用におきまして、最終調整となりました。これを使用することにより年間約400万円の費用圧縮が見込まれます。今後も医療材料の見直し等、積極的に進めてまいります。

教育講演1では敗血症性ショックに対するPMX療法に関して、今までの臨床現場では導入時期などの客観的な指標がありませんでした。しかし、最新の海外のStudyやガイドランを参考にプロトコルが作成され、根拠に基づいた治療が検討されています。またARDSやIPFといった急性呼吸器疾患への治療効果も実証されており、今後のPMX療法に対する臨床評価が期待されます。

教育講演2では内視鏡手術装置の基本的な操作や管理方法など、実機を用いた実習も交え講義をして頂きました。県厚生連では手術室業務に携わっている臨床工学技士は一部ですが、今後業務に従事する上で大変参考になりました。

最後に、この春期研修会が有意義な場となりましたことを、会員一同を代表致しまして、感謝申し上げます。

以上